

昭和37年9月20日生
 平成23年4月福岡県議会議員初当選
 平成27年4月二期目
 平成31年4月三期目
 添田町立添田小学校・添田中学校卒
 福岡県立田川高等学校卒
 日本大学商学部会計学科卒
 麻生セメント株式会社入社・株式会社
 麻生情報システム転籍
 株式会社麻生情報システム代表取締役
 社長



さとし こうざき 聡 夢からはじまる
 http://www.kouzakisatoshi.com

県政報告 食と緑を守る緑友会福岡県議団
 令和4年6月号

福岡県文教常任委員会
 国際化・多文化共生社会調査特別委員会
 緑友会福岡県議団・副会長
 福岡県議会議員 **神崎 聡**

令和4年度6月定例会が6月3日から21日の日程で開会されます。

令和4年度当初予算では、令和3年度2月補正予算と一体的に編成し、さらに12月補正予算を合わせ、切れ目ない16カ月予算として、国の経済対策を最大限に活用しています。「令」、「成長」、「安心」をキーワードに新型コロナのまん延や大雨・豪雨災害などから県民の皆さんの命と生活を守り、「入財」の育成や成長産業の創出により、福岡県を未来に向けて飛躍・発展させま

いります。県民の皆さんが笑顔で安心して暮らせる社会づくりに県と県議会は両輪で取り組んでいます。今回の県政報告6月号では、田川郡の令和4年度当初予算主要事業をまとめて掲載しています。

毎年のように襲ってくる自然災害、新型コロナウイルス感染症拡大に迅速かつ臨機応変に対応し、疲弊した地域経済を立て直しを図っていきます。

地方創生の基本は、住み慣れたところで「働く」、長く元気に「暮らす」、お子さんを安心して産み「育てる」ことだと思います。これからも議員活動・議会活動を通して、車の両輪である県・県議会に働きかけてまいります。

今後とも、ご指導、ご鞭撻、ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年度主要事業調 (当初予算)

(田川郡)

(単位：千円)

課名	事業名	予算額	箇所名、事業内容等
広域地域振興課	石油貯蔵施設立地対策事業費	5,586	○ 石油貯蔵施設に係る公共用施設の整備事業に対する助成
	日田彦山線沿線地域振興事業費	119,515	○ 日田彦山線沿線地域振興事業費補助金
交通政策課	第三セクター鉄道等近代化設備整備費	33,602	○ 平成筑豊鉄道(株)が行う安全施設等の整備及び車両の法定点検費用に対する助成
青少年課	放課後児童クラブ推進費	78,907	○ 地域における児童の健全育成活動の推進に要する経費の補助 ・放課後児童クラブ運営支援事業費(33か所) ・放課後児童クラブ利用料減免事業費
スポーツ振興課	地域スポーツイノベーション事業費	168	○ 地域スポーツイノベーションカレッジ開催に要する経費
健康増進課	地域子ども・子育て支援事業費	1,876	○ 妊産婦等に対する総合的相談支援事業に対する助成
医療指導課	地域医療総合確保事業費	1,002	○ 病院内保育所の運営費に対する助成 752 ○ 新人看護職員卒後研修費 230 ○ 産科医等確保のための分娩手当に対する助成 20
	医療施設防災設備整備費補助金	24,258	○ 病院・有床診療所のスプリンクラー設置等に対する助成



スマートフォンでも県議会画面中継

ブログ報告



動画報告



フェイスブック



フェイスブックページ



ツイッター



福祉総務課	福岡県被災者生活再建支援制度	3,000	○被災者生活再建支援法が適用される自然災害が発生した場合で同法が適用されなかった市町村の被災者に対し、法と同様の支援金を支給
	福岡県被災者住宅再建支援費	1,000	○被災者生活再建支援法が適用される自然災害により被災した住宅の再建のために受ける融資の利子に対する補助
子育て支援課	児童福祉施設等整備費	4,807	○児童厚生施設の整備に対する助成（1か所）
児童家庭課	児童福祉施設等整備費	3,000	○児童養護施設等の整備に対する助成（1か所）
廃棄物対策課	浄化槽整備促進費	31,272	○浄化槽の設置（個人設置型）に対する助成等 196基 ・市町村が行う浄化槽設置整備事業費補助に対する助成 ・単独浄化槽や汲み取り便槽から合併浄化槽への転換を促進するための撤去・配管費用に対する助成
廃棄物対策課	浄化槽整備促進費（浄化槽市町村整備推進費）	2,576	○市町村が行う浄化槽市町村整備推進事業等に対する助成 35基
自然環境課	自然保護対策費	141	○福岡県希少野生動植物種の保護に関する条例に基づく保護回復事業の実施
	英彦山及び犬ヶ岳生態系回復事業費	8,207	○シカ捕獲事業の実施に要する経費
観光政策課	地場産業活力創造支援費	1,800	○伝統的工芸品振興のため組合等が行う後継者育成、需要開拓事業等への助成 ・上野焼協同組合
	日田彦山線沿線地域観光振興費	12,893	○日田彦山線沿線の観光地域づくりの支援に要する経費
農山漁村振興課	特用林産振興対策費	309	○特用林産物造成事業費
農村森林整備課	農業農村整備事業費	213,100	○経営体育成基盤整備事業費 ・伊方地区（福智町）
	ため池等整備費	126,301	○ため池等の整備に要する経費 ・くぬぎ谷地区（福智町）ほか9地区
	林道整備事業費	175,726	○県代行林道開設費 豊前坊線 104,000 ○森林整備林道事業費 大藪～中河内線ほか7路線 11,726 ○ふるさと林道緊急整備事業費 豊前坊線 60,000
	治山事業費	260,867	○治山激甚災害対策特別緊急事業等 ・深倉山地区ほか8箇所
林業振興課	造林事業費	111,383	○森林環境保全直接支援事業等 森林整備 約234ha
	森林整備地域活動支援交付金	4,113	○森林所有者等の計画的な森林施業の実施に必要な事前活動に対する交付金
道路維持課	道路防災事業費	48,300	○補助事業費 ・英彦山香春線、八女香春線 ほか

課名	事業名	予算額	箇所名、事業内容等
道路維持課	交通安全対策費	152,250	○ 補助事業費 ・ 八女香春線、猪国豊前柵田停車場線 ほか
道路維持課 道路建設課	道路整備事業費	609,520	○ 補助事業費 ・ 国道322号、英彦山香春線 ほか
道路建設課	基幹的 道路整備事業費	710,302	○ 補助事業費 ・ 国道322号、田川直方線 ほか
河川管理課 河川整備課	河川改修費	124,219	○ 単独事業費 ・ 中元寺川
砂防課	砂防事業費	310,556	○ 単独事業費 ・ 黒中川、深倉川左支川 ほか (砂防事業) 166,622 ・ 柵田宮ノ前地区 (急傾斜地崩壊対策事業) 105,000 ・ 新規箇所調査 (砂防調査) 41,622 ・ 20,000 ○ 補助事業費 143,934 ・ 長浦川、住野川 (砂防事業) 19,320 ・ 添田 (2) 地区 (地すべり対策事業) 24,150 ・ 不動地区 ほか (急傾斜地崩壊対策事業) 100,464
水資源課 水対策課	水道施設耐震化等促進費	26,280	○ 水道事業者が行う水道施設の耐震化等に対する助成
県営住宅課	公営住宅建設事業費	236,534	○ 県営住宅の建設に要する経費 ・ 須川団地
	公営住宅ストック 総合改善事業費	129,660	○ 県営住宅の改善工事に要する経費 ・ 方城団地
警察本部	交通安全施設整備事業費	17,522	○ 交通信号機の整備 7,268 ○ 道路標識の整備 4,449 ○ 道路標示の整備 5,805
総務企画課	ふくおか教育月間推進費	953	○ ふくおか教育月間 (11月) の推進に要する経費
財務課 施設課	県立学校空調設備設置管理費	8,167	○ 県立学校の空調設備の維持・管理に要する経費
教職員課	教員の働き方改革推進費	190	○ 県立学校における勤務時間管理システムの運用に要する経費

課名	事業名	予算額	箇所名、事業内容等
施設課	教員の働き方改革推進費	2,636	○ 県立学校における情報共有システムの運用に要する経費 62 ○ 県立学校における生徒の基本情報等管理システムの運用に要する経費 2,574
施設課	県立学校 I C T 環境整備費	43,889	○ 県立学校における一人一台タブレット型端末等の I C T 機器整備に要する経費 40,137 ○ 県立学校に I C T 支援員を配置し、教員の I C T 活用能力向上研修等の実施に要する経費 3,752
	高等学校施設整備費	95,503	○ 校地整備費 田川高校
	特別支援学校施設整備費	31,440	○ 施設充実費 川崎特別支援学校
文化財課	文化財保護事業助成費	11,425	○ 指定文化財の保存整備等に対する助成
高校教育課	英語力向上推進費	4,751	○ 教員の英語力、指導力の向上に要する経費 2 ○ 英語指導助手の配置に要する経費 4,749
	いじめ・不登校総合対策費	792	○ いじめ及び不登校の予防・早期発見と解決を図るための経費
	未来を切り拓く人材育成費	369	○ 生徒が主体となって計画立案した体験活動等の実施に要する経費
	次世代の科学技術を担う人材育成費	64	○ 高校生を対象とした「科学の甲子園」福岡県大会の実施等に要する経費
	自立と協働を学ぶ体験活動推進費	61	○ 自立と協働を学ぶ体験活動に要する経費
	高校生キャリア教育推進費	15	○ 普通科・総合学科のインターンシップ実施に要する経費
	グローバル人材育成強化費	106	○ 大学教授と高校生がディスカッションを行う合宿の実施等に要する経費 69 ○ 高校生の留学経費に対する助成 37
	英語教育強化費	31	○ 高校生の 4 技能型英語力の総合的な育成に要する経費

課名	事業名	予算額	箇所名、事業内容等
高校教育課	プログラミング 実習環境整備費	753	○「情報Ⅰ」のプログラミング実習環境整備に要する経費
義務教育課	いじめ・不登校総合対策費	14,708	○いじめ及び不登校の予防・早期発見と解決を図るための経費
	ふくおか学力アップ推進費	59,717	○学力強化が特に必要な市町村が実施する学力向上プランの推進に対する助成等 1,785 ○学力強化が特に必要な市町村への非常勤講師の派遣に要する経費 57,932
	児童生徒の 生活環境改善費	2,098	○市町村の全中学校区へのスクールソーシャルワーカー配置に対する助成
	英語教育強化費	4,044	○中学校における英語教育の高度化への対応に要する経費
	コミュニティ・スクール 導入促進費	113	○市町村のコミュニティ・スクール導入に向けた研修会に要する経費
	小中学校ICT活用教育推進費	805	○公立小中学校の教員に対するICT活用能力向上のための研修実施に要する経費
	市町村立学校学習 指導員等配置事業費	560	○市町村が行う教員業務支援員の配置に対する助成
特別支援 教育課	県立学校特別支援 教育推進費	1,867	○県立学校への特別支援教育支援員の配置に要する経費
	障がい児理解啓発推進費	78	○小・中・高等学校との交流事業費
	県立学校等 医療的ケア体制整備費	30	○医療的ケアを必要とする児童生徒のための環境整備に要する経費
	特別支援学校 専門スタッフ強化費	965	○スクールカウンセラー及び理学療法士等の外部専門家の配置に要する経費
	特別支援教育就学支援費	56,630	○特別支援学校の児童生徒の就学支援に要する経費
体育 スポーツ 健康課	公立学校給食運営費	12	○特別支援学校の給食実施に要する経費

課名	事業名	予算額	箇所名、事業内容等
体育 スポーツ 健康課	学校給食調理業務委託費	8,162	○ 特別支援学校の給食調理業務委託に要する経費
	健康教育推進費	74	○ 児童生徒の健康問題解決のための相談体制の整備に要する経費
	教員の働き方改革推進費	2,825	○ 市町村が行う部活動指導員の配置に対する助成 1,008 ○ 県立学校における部活動指導員の配置等に要する経費 1,817
	ワンヘルス教育推進費	392	○ ワンヘルスに関する教育及び理念の普及・啓発に要する経費
	県立学校健康診断 感染防止体制強化費	250	○ 県立学校の健康診断において、協力医等を増員することに要する経費
社会教育課	地域と一体となった 学校づくり推進費	9,393	○ 市町村が行う放課後活動、学校支援に対する助成等
	子どもの読書習慣形成・ 定着支援事業費	375	○ 市町村が行う子どもの読書習慣の形成・定着に向けた取組みに対する助成等

令和3年中の田川警察署管内の治安概況

【三大重点目標】

① 暴力団関連犯罪の検挙状況（令和3年）

田川署（構成員 6人（+ 2人）、準構成員含 23人（- 4人））

福岡県（構成員127人（- 25人）、準構成員含778人（- 156人））

② 飲酒運転による交通事故発生状況（令和3年）

田川署（ 5件（- 1件））

福岡県（101件（- 1件））

③ 性犯罪の発生状況（令和3年）

田川署（強制的性交 発生 4件（+ 2件）検挙率25%、 強制わいせつ 発生 5件（+ 1件）検挙率80%

福岡県（強制的性交 発生60件（+ 5件）検挙率91.67%、強制わいせつ 発生191件（+ 18件）検挙率82.2%

● 刑法犯認知件数（令和3年）

田川署（ 684件（- 35件））

福岡県（26,337件（- 1,290件））

● 交通事故発生件数（令和3年）

田川署（ 561件（+ 15件）、死者数 5人（+ 1人））

福岡県（20,066件（- 1,429件）、死者数101人（+ 10人））

● ニセ電話詐欺発生状況（令和3年）

田川署（ 2件（± 0件）、被害額 90万円（- 1,224万円））

福岡県（329件（+ 128件）、被害額7億6,460万円（+ 3億7,606万円））



田川県土整備事務所（所長、副所長、課長）と共に、令和4年度事業予算の現場視察
県道添田赤池線（道の駅いとだ）



県道猪国榎田停車場線歩道拡幅整備（真崎地区）



県道八女香春線拡幅工事（落合地区）～当区間は道路幅が狭く見通しも悪いため、安全で円滑な交通の確保を目的に道路拡幅と線形の改良を行っています。地域住民の日常生活における円滑な通行に加え、緊急輸送道路としての機能が強化されます。また英彦山観光への交通アクセスが改善され、観光振興による地域の活性化が期待されます。

県文教常任委員会管外視察（新潟県）

令和4年5月9日～11日

文教委員会は、教育改革推進方策、社会の変化に対応した教育の改善・充実、教職員の定数・給与及び勤務条件の改善、県立教育施設の充実、学校週5日制の弾力的な実施、生涯学習の充実、保健体育・スポーツの振興、文化財の保護、私学振興、青少年の健全育成、学校や地域社会における児童生徒の安全対策などについて審査及び調査を行っています。

① 佐渡島の金山

令和3年12月28日に文化庁より、文化審議会世界文化遺産部会が「佐渡島の金山」を世界文化遺産の推薦候補に選定する答申があり、本年1月28日に政府よりユネスコに推薦することが正式に表明されました。視察先で、今後は、「佐渡島の金山」が世界的に貴重な文化遺産として評価されるとともに、次世代へその価値を継承し、令和5年の世界遺産登録実現に向けて取り組むとの決意でありました。



実は、「佐渡島の金山」への視察ということだったので、連休中に妻にも協力してもらい、愛媛県新居浜市の別子銅山と島根県大田市の石見銀山に見学に行っていました。歴史や地理は単に暗記するのではなく、時代背景や盤石な支配力を支えたものは何だったのか、日本には自前の貨幣を大量に流通させる十分な資源がなかったことで、中国から「宋銭」や「明銭」を輸入していましたが、見事に問題を解決したのが、江戸幕府であり、鉱山開発でありました。「佐渡金山」「石見銀山」「足尾銅山」により統一貨幣を流通させたのが歴史の事実であります。ただし、「別子銅山」だけは幕府は一切管理せず、開山から400年の間、住友財閥が経営してきたのが、とても興味深いところです。歴史はロマンであり、感動の連続だと改めて思った次第です。

さて、佐渡を世界遺産にする様々な団体が長きに渡り活動を続けられています。「講演会」や「御金荷の道ウォーク」「子どもサミット」などの事業を実施したり、佐渡市所有の相川金銀山、鶴子銀山などの写真集や特産品販売を行う「佐渡フェア」の開催、首都圏においても新潟県、佐渡市など主催したイベント等は数えきれない程もあったということでした。近代遺産の象徴「東洋一の浮遊選鉱場」と言われた北沢浮遊選鉱場ではライトアップされ世界文化遺産推薦に花を添えていました。多くの関係者の皆さんのご尽力で推薦決定に至ったということを改めて認識しました。

「佐渡島の金山」は16世紀末～19世紀半ば（戦国時代末～江戸時代）にかけて、豊かな金鉱脈の島・佐渡島において、徳川幕府の管理・運営の下、いわゆる鎖国政策によって技術交流が限られる中、ヨーロッパとは異なるシステムとして発展を遂げ、世界に誇る量と質の金を生産した伝統的手工業による大規模かつ長期にわたり継続した金生産システムを示す稀有な産業遺産です。

・佐渡島の「金生産システム」は採掘跡や排水坑道などの「生産技術」を示す遺跡と、鉱山集落跡などの「生産体制」を示す遺跡の大きく2つで構成され、両社が現在でも良好な状態で保全されている金鉱山遺跡は世界的に類をみないものです。

・人類の鉱山史は伝統的手工業で鉱山開発を行った「機械化前」と、15～16世紀の大航海時代を境にヨーロッパ地域を中心に機械装置の導入が進む「機械化後」の大きく2つに分けることができます。同時期の世界では機械化へと向かう中、「佐渡島の金山」では機械装置に頼ることなく持ちうる手工業技術を深化させるとともに組織体制も大規模化することで、量・質ともに世界レベルの金生産を行うことができました。その意味で伝統的手工業による金生産の技術的・体制的な最終段階・最高到達点を物語る資産であると言えます。

略歴

- 昭和53年 浜田町立浜田中学校卒業
- 昭和56年 福岡県立田川高等学校卒業
- 昭和60年 日本大学商学部会計学科卒業
- 昭和60年 康生セメント株式会社入社
- 平成2年 株式会社麻生情報システム転籍
- 平成12年 株式会社麻生情報システム 取締役
- 平成13年 株式会社麻生情報システム 代表取締役
- 平成23年 福岡県選連（田川郡区） 初当選
- 平成27年 福岡県選連（田川郡区） 2期目当選
- 平成31年 福岡県選連（田川郡区） 3期目当選
- 福岡県農林水産委員会 副委員長
- 福岡県総合企画地域振興委員会 委員長

福岡県選連での主な所属

- 維友会福岡県選連 副会長
- 県文教常任委員会 委員
- 県国際化・多文化共生社会調査特別委員会 委員
- 福岡県総合計画審議会 委員
- 福岡県地域交通体系整備促進協議会 委員
- 福岡県タイ友好議員連盟 副会長
- 福岡県森林・林業・林産業活性化促進選連 副会長
- 福岡県日韓友好議員連盟
- 福岡県日米友好議員連盟
- 福岡県日中友好議員連盟
- 福岡県国際交流推進議員連盟
- 福岡県ベトナム友好議員連盟
- 福岡県台湾友好議員連盟
- 福岡県防衛議員連盟
- 福岡県産業振興議員連盟
- 遠球地域活性化対策福岡県議員連盟
- 産地地域活性化対策福岡県議員連盟
- オイスカ国際活動促進福岡県議員連盟
- 福岡県観光産業振興議員連盟
- 福岡県文化議員連盟
- 福岡県スポーツ議員連盟
- 九州・沖縄未来創造会議
- 九州の自立を考える会
- 日本会議福岡支部 幹事
- 田川地方バイパス延伸推進期成会 顧問
- 田川広域観光協会 理事
- 北九州下関道路整備促進福岡県議員連盟

② 大崎そばの会（大崎活性化センター）

「大崎そばの会」は昭和53年より続く伝統的な行事で、地元で採れたそば粉を100%使った十割そばの手打ち。地元で採れた素材を地元の方が料理し、それを振る舞い、地元の方たちが舞台上に立ち芸能を披露するという地元の人たちが中心のイベント。文弥人形（古浄瑠璃形式をもとに独自に改良が加えられ、国の重要無形民俗文化財に指定）をはじめとした民俗芸能を鑑賞することができます。文弥人形は、江戸時代より伝わるひとり語りの文弥節に人形を合わせたもので、明治3年にここ佐渡島の大崎で発祥した。三味線を弾きながら物語を語る「太夫」とそれにあわせて人形を操る「遣い手」が演じる人形劇。例年11月から2月にかけて会が催されており、年間3,000人以上の参加者が訪れています。



② 田中角榮記念館

平成10年4月に新潟県柏崎市（旧羽羽郡西山町）の二田小学校跡地に開館されています。第64代内閣総理大臣に就任した田中角榮氏に関する遺品や遺墨などの文化財を保存し展示されています。日中国交の道を再び開いた偉業や生前の面影を偲ぶ事ができる施設となっていて、食事処「角さんの台所」を併設しており、角榮氏の好物のつげ汁が食べられます。また、隣接したふるさと公苑では中国との交流拠点として文化の紹介を行っていました。

館内は写真禁止ということでしたが、館内には「以和為貴」（和をもって貴（たつ）しとなす）、「蜂嬢採花球」（蜂は懶（らん）にして花を求むるも疎（まば）らなり）の横額や個人所蔵の希少な「ふすま」にした書4枚、日中国交正常化を実現させたときに詠んだ漢詩の色紙など30点あまりと写真・遺品などが展示されていました。東京都目白の田中邸にあった応接室も再現されています。政財界の要人が訪れ、陳情客が順番待ちの列をなした様子を説明して頂き、最後は「ヨッシャ、ヨッシャ」で話がまとまったとの事です。何となく、あのだみ声が聞こえてきました。